

JCBA

No.178 May 2023

Japan Customs Brokers Association



CONTENTS

- 2 令和4年度 第4回理事会の開催
- 4 「大学生フォーラム」の開催
- 6 第2回通関士セミナーの開催
- 7 青山学院大学において特別講義
- 8 各通関業会定時総会の開催
- 11 通関業会だより
- 15 各通関業会業務報告

令和4年度 第4回理事会を開催

(一社)日本通関業連合会は、3月16日(木)に令和4年度第4回理事会を日本通関業連合会会議室において開催しました。

理事会は定款の規定により岡藤会長が議長を務め、次の議案について審議が行われ、すべての議案が原案のとおり承認、可決されました。

【議案】

第1号議案 令和5年度 事業計画(案)に関する件

第2号議案 令和5年度 収支予算(案)に関する件

■ 岡藤会長挨拶

本日は、年度末の慌ただしい中を多数の皆様にご参加いただき、ありがとうございます。

理事会の開会に先立ち一言ご挨拶を申し上げます。

政府は、今週月曜日からマスク着用ルールを緩和し、屋内外を問わず個人の判断に委ねることとしました。先週から始まったワールド・ベースボール・クラシック(WBC)を見てみると、皆さんコロナ前に戻ったような盛り上がり方になっています。一昨年、無観客で開催された「2020東京オリンピッ

ク・パラリンピック」とは雲泥の差があり、スポーツは観客と一体となって盛り上がるものと実感した次第です。これを機に経済の方も本格的なアフターコロナに向かうことを期待したいと思います。

さて、理事会の開催は昨年9月以来です。皆さんとお会いするのも、昨年10月の「通関業の日」記念日講演会以来となりましたので、それ以降に行われた行事などについてご報告したいと思います。

ご承知のとおり、昨年11月28日、日本の税関が運上所から税関と呼称を変更してから150周年を迎えました。これを記念して財務省では、都内のホテ



ルにおいて記念式典を開催しております。式典は、秋篠宮皇嗣ご夫妻のご臨席の下、来賓として麻生前財務大臣、世界税関機構（WCO）の御厨事務総局長がご出席され、盛大に開催されました。通関業界を代表して、鈴木相談役と私をご招待を受け、参加して参りました。

次に、税関発足150周年記念事業の一環として、昨年11月25日、日本関税協会、NACCSセンターとの共催により「税関発足150周年記念シンポジウム」を開催しました。また、去る3月7日には、財務省関税局、東京通関業会との共催で「大学生フォーラム」を開催したところです。シンポジウムでは、WCOの御厨事務総局長に参加いただき基調講演などをしていただいたほか、諏訪園関税局長にもご参加していただきパネルディスカッションを行うことが出来ました。また、大学生フォーラムでは、5大学、1高等専門学校から16チームが参加し、貿易や物流に関するテーマで研究発表が行われました。両事業に対しては、関税局幹部をはじめ多くの方から、お礼のお言葉をいただき、成功裏のうちに終了することが出来ました。これも各地区通関業会の皆様、会員の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

ところで、世界の情勢、経済環境は、米中摩擦の長期化、パンデミック、ウクライナ危機など地政学リスクの高まりにより、自由な貿易、投資体制が当



たり前の状況から大きく変化してきております。従来、サプライチェーンの構築に当たっては、経済合理性を優先して考えれば良かったものが、今後は、サプライチェーンに組み込まれる国の政治状況や環境、人権問題などを念頭に、我が国の経済安全保障についても充足する必要が出てきました。貿易業務に携わる通関業としても、この様な変化に適切に対応していく必要があると考えます。

本日の理事会では、令和5年度の事業計画及び収支予算についてご審議をいただくこととしております。5月の定時社員総会に向け、連合会としての活動方針を決めるものです。

活発なご審議をお願いして冒頭の挨拶とさせていただきます。



大学生フォーラムの開催

(一社)日本通関業連合会は、3月7日(火)に東京税関において、財務省関税局及び東京通関業会との共同主催及び日本貿易会の協力により、税関発足150周年記念事業の一環である「大学生フォーラム」を開催しました。

フォーラムには、中央大学経済学部、津田塾大学総合政策学部、早稲田大学商学部、富山高等専門学校国際ビジネス学科、明治大学商学部、愛知大学法学部から、16チーム・55名の学生が参加しました。

当日の午前中は、東京港青海ふ頭内のワールド物流センターや東京税関コンテナ検査センターを見学しました。ワールド物流センターでは、屋上から東京港のコンテナふ頭の全景を眺めながら、東京港の概要や海上コンテナ貨物の流れについての説明を受け、また、会議室において、通関手続きや通関士の役割等についての説明がありました。

午後からは、「日本経済を発展させ、日本国民の生活を豊かにする貿易とは何か～昨今の国際貿易、



物流センター・会議室

国際物流に関する環境変化を踏まえて～」といったフォーラムのテーマに基づき、各グループがそれぞれ調査・研究した成果を発表し、また、当連合会の岡藤会長もフォーラムの審査員として参加していただきました。

フォーラム終了後の学生への事後アンケートでは、今回のフォーラムが貿易や物流のことを学ぶ良い機会となり、参加して大変良かったといった意見



物流センター・屋上



フォーラム・発表会場



審査員・岡藤会長



結果発表・表彰

が多数寄せられました。また、ワールド物流センターの見学に対しては、「通関業は、日本の貿易発展に欠かせない存在であることが分かった。」「民間企業と税関が連携していることを知らなかったので、

今回、両方の話を聞いて大変勉強になった。」「通関士の方からの解説や意見は貴重なものであった。」など、通関業の認知度向上に繋がったものと思われます。



参加者・集合写真

第2回通関士セミナーを開催

(一社)日本通関業連合会は、去る2月24日(金)、「農水産品に関するEPAの利用について」と題し“第2回通関士セミナー”を開催しました。

本セミナーは、財務省関税局のご支援を頂戴し、東京税関業務部総括原産地調査官(原産地センター)及び農林水産省から講師をお招きし、300名を超える多数の皆様から参加申し込みをいただきました。

近年、我が国ではTPP11、日EU・EPA及びRCEP協定といったメガEPAが相次いで発効し、これらEPAを活用した貿易の拡大、とりわけ我が国からの輸出拡大が期待されているところです。

このような状況の中、昨年6月8日(水)に開催した第1回通関士セミナー「通関士として知っておきたいメガEPAの活用法(輸出編)」に引き続き、我が国の輸出重点品目である「農水産品」にフォーカスして開催することにしたものです。

セミナー終了後に実施したアンケートでは、ご回答いただいた皆様の約92%から“とても参考になった”及び“参考になった”との評価を頂き、大変有意義なセミナーとなりました。

輸出入手続の専門家である通関士に対しては、メガEPAの有効活用によるアドバイザー的役割に対する期待もますます大きくなってきていますが、当連合会では、これらの期待に対応すべく、通関士の専門性向上に向けた支援事業のより一層の充実を図って参りたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をいただければ幸いです。

本セミナーの開催に当たり、多大なるご支援を賜りました財務省関税局、東京税関業務部総括原産地調査官(原産地センター)及び農林水産省の皆様に対しまして、あらためまして心より御礼を申し上げます。

【セミナー概要】 敬称略

第1部 EPAの利用に際しての農産品の品目別規則や非違事例

(講師) 東京税関業務部総括原産地調査官(原産地センター) 森江 雄也

第2部 農水産品の輸出拡大に向けた取組及び相談事例

(講師) 農林水産省輸出・国際局 池田 幸介

第3部 改正輸出促進法と農林水産省の輸出関係予算事業について

(講師) 農林水産省輸出・国際局 池田 幸介

(注) 本セミナーの資料は、当連合会ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。

青山学院大学において 特別講義を実施

2023.1.12(木)

青山学院大学大学院経営学研究科では、世界各国の税関などで指導的な役割を果たすことが期待されている将来のリーダーのために、世界税関機構(WCO)のスポンサーシップのもとで戦略経営・知的財産権プログラム(SMIPRP: The Strategic Management and Intellectual Property Rights Program)(修士課程コース)を提供しています。

2022年度は、アフリカ4カ国(ボツワナ、エチオピア、スーダン、ザンビア)、アジア4カ国(インド、インドネシア、ヨルダン、マレーシア)、中南米2カ国(ジャマイカ、ブラジル)から計10カ国10名の留学生(途上国税関に勤務する若手の実務家)が学位取得を目指しており、留学終了後は出身国税関に戻って活躍することが期待されています。

今般、一般社団法人日本通関業連合会では、財務省関税局(税関研修所)を通じ青山学院大学から要請があったことから、北村総務部長を派遣し、「我が国における通関業界の現状と将来について」という演題で特別講義を実施しました。



講義では、日本の通関業界の現状及び様々な取り組み等を紹介するとともに、貿易円滑化を巡る民間セクターの重要性及び税関等との協力関係の構築の意義などにポイントを置いて説明を行いました。活発な質疑応答が行われ、高い関心を持って聞いていただけたのではないかと思います。



各通関業会定時総会の開催

東京通関業会 令和5年度『定時総会・会員懇談会』の開催

令和5年2月22日（水）午後4時00分から、第一ホテル東京において「東京通関業会第76回定時総会」が開催されました。

冒頭、事務局から総会の成立（総店社数：287社、出席店社数：65社、代理権授与店社数：166社、合計231店社）の報告を行い、続いて曾根会長を議長に選出し、以下の6議案について審議され、いずれも原案どおり可決承認されました。

- 第1号議案 令和4年度 事業報告に関する件
- 第2号議案 令和4年度 収支決算に関する件
- 第3号議案 令和4年度 余剰金処分(案)に関する件
- 第4号議案 令和5年度 事業計画(案)に関する件

- 第5号議案 令和5年度 収支予算(案)に関する件
- 第6号議案 役員選出に関する件

総会に引き続き、表彰状贈呈式並びに通関業務永年勤続者表彰式を執り行い、昨年税関記念日に感謝状を授与された2名の方々並びに長年にわたり業会の発展に寄与された37名（出席26名）の方々に対し、曾根会長から表彰状及び記念品を贈呈し、その功績を称えました。

表彰式の終了後、3年振りとなる会員懇談会が行われ、後藤東京税関総務部長はじめ税関幹部の皆様、東京税関保税会 渡邊会長ほか多数のご来賓にご出席をいただき、和やかに会員との懇談が進められ、盛会のうちに終了しました。



曾根会長



総会風景



表彰状贈呈式・通関業務永年勤続者表彰式

名古屋通関業会 第76回定時総会及び懇談会の開催

1. 第76回名古屋通関業会定時総会

- (1) 開催日時：令和5年3月22日（水）
17:00～17:45
- (2) 開催場所：ANAホテルグランコート名古屋
7階「ザ・グランコート」
- (3) 出席者：会員総数158店社中、
68店社が出席（委任状提出43社）
- (4) 次第：総会は、柘植理事長が議長となり、
第1号議案 令和4年事業報告に関する件
第2号議案 令和4年収支決算報告に関する件
第3号議案 令和5年事業計画(案)に関する件
第4号議案 令和5年収支予算(案)に関する件
第5号議案 令和5年役員改選(案)に関する件
の5議案について審議が行われ、会員からは特に異議もなく、全会一致で原案どおり承認されました。

総会に先立ち、柘植理事長が、会員各店社に対し、業会の業務運営に対する理解と協力への謝辞の後、RCEP協定などによる貿易取引の複雑化・多様化、

サプライチェーンにおけるデジタル化等の進展等に伴う通関業界及び通関士としての能力・専門性の向上及びダイバーシティへの取り組みに関して考えを述べられました。

また、本年も、通関業に課せられた責務を全うするため、さらに情報提供に努めつつ具体的な取り組みを進めていき、なお一層の理解と支援をお願いされ、挨拶を終えられました。

2. 会員懇談会

- (1) 開催日時：令和5年3月22日（水）
18:00～19:45
- (2) 開催場所：ANAホテルグランコート名古屋
7階「ザ・グランコート」
- (3) 出席者：102名（事務局含む）

コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となりました。柘植理事長が乾杯の音頭で始まり、着座形式（コース料理）ではありますが、盛会のうちに終了しました。



議長（柘植理事長）



総会風景



懇談会風景

神戸通関業会 令和5年定時総会

●日時：令和5年3月18日(土) ●書面決議にて実施

(議案)

第1号議案 令和4年会務報告に関する件

第2号議案 令和4年決算報告に関する件

第3号議案 令和5年事業計画案審議に関する件

第4号議案 令和5年予算案審議に関する件

第5号被案 役員改選に関する件

以上の議案につき、全会員店社から書面決議を賜り、全ての議案について提案どおり承認されました。

古都奈良明日香村散策

(大阪通関業会)

奈良県の中央部に位置する小さな里、明日香村（あすかむら）。かつて日本の政治・経済・文化の中心として栄えた、飛鳥京（あすかきょう）があった地です。のどかな田園風景の中に見え隠れする1400年前の栄華の名残が、訪れる人のロマンをかきたてます。初めて訪れてもどこか懐かしさを感じる……。今回はそんな飛鳥の里を紹介します。



「明日香」と「飛鳥」



「明日香」も「飛鳥」も「アスカ」と読みます。その語源は定かではありませんが、渡来人によって朝鮮語で安住の宿という意味の安宿（アンスク）が転訛した説や、古い朝鮮語で村を意味するスカに接頭語のアがついたという説、仏教発祥の地であるインドの王、アショカの名が転訛した説、鳥が吉兆の印とされていたことから、渡り鳥イスカという鳥の名前が転訛したという説、地形を表す言葉に由来する説など多数が伝えられています。

「アスカ」という地名に縁起よく美しい響きの漢字をあてがったのが「明日香」であるとされています。日本の歴史において、6世紀の終わり頃から約

100年続いたアスカ時代は「飛鳥」と書き、古事記や日本書紀でもそのように記される。これは「飛ぶ鳥の明日香」と詠まれた枕詞に由来し、それが後に「飛ぶ鳥」と書いて「アスカ」と読むようになったためとされています。

奈良県にある日本で初めて都が置かれたとされるアスカは、飛鳥村と高市村、阪合村が昭和31年に合併し、飛鳥の字を使えないため明日香村となりました。そのため一般的に、地名や自治体としては明日香を、時代や地域などを指すときは飛鳥が使われていますが、法律などで明確に区別されているわけではありません。

石舞台古墳

日本最大級の横穴式石室をもつ古墳。30数個の石の総重量は約2,300トン、天井石は約77トンもあり当時の優れた土木技術が伺えます。元々あった盛り土が無くなり、巨石が剥き出しの姿になっている非常に珍しい古墳で、被葬者はいまだ明確に分かっ

ていませんが、蘇我入鹿の祖父である蘇我馬子とする説が有力です。『日本書紀』の推古天皇34年（626年）5五月の条に「大臣^{ミコト}薨^ヌせぬ。仍^ニりて桃原墓に葬る」とあり、大臣は、蘇我馬子を指しています。

石舞台古墳の周辺には約60本のソメイヨシノが



植えられており、春には古墳と桜のコラボレーションが楽しめます。見頃を迎える時期にはライトアップ

も実施されます。

高松塚古墳

高松塚古墳は藤原京期（694年－710年）に築造された終末期古墳で、直径23m（下段）及び18m（上段）、高さ5mの二段式の円墳です。1972年に極彩色の壁画が発見されたことで一躍注目されるようになりました。

高松塚古墳の発掘調査は、1972年3月1日から開始されました。発掘の始まったきっかけは、

1970年の10月ころ村人がショウガを貯蔵しようと穴を掘ったところ、穴の奥に古い切石が見つかったことです。地元の人達が明日香村に働きかけ、明日香村が資金を捻出し奈良県立橿原考古学研究所が発掘調査することになりました。

古墳は鎌倉時代ころに盗掘を受けており、石室の南壁には盗掘孔が開けられていましたが、壁画の彩



色は鮮やかに残り、盗掘をまぬがれた副葬品の一部も検出されました。極彩色壁画の出現は考古学史上

まれにみる大発見としてトップニュースとなりました。

亀 石

長さ3.6m、幅2.1m、高さ1.8mの巨大な花崗岩に亀に似た彫刻が彫られていることからこの名前で呼ばれています。そのユーモラスな顔つきから明日香村観光のシンボルともなっています。

建造時期、目的ともに不明で、いくつかの説が出されているものの、結論は出ていません。伝説によ

ると、大和盆地一帯が湖であった頃、対岸の当麻のへびと川原のナマズの争いの結果、前者が勝ち、水を吸い取られた結果、干上がってしまい、湖のカメはみんな死んでしまった。これを哀れに思った村人たちは、「亀石」を造って供養をしたといわれています。



橘 寺

橘寺は聖徳太子生誕の地といわれており、聖徳太子建立七大寺の1つとされており、聖徳太子が父用明天皇の別宮を寺に改めたのが始まりといわれています。史実としては橘寺の創建年代は不明で、『日本書紀』天武天皇9年（680年）4月条に、「橘寺尼房失火、以焚十房」（橘寺の尼房で火災があり、十房を焼いた）とあるのが文献上の初見です。

8世紀には66もの堂宇が並び立ち、皇族・貴族の庇護を受けて栄えた橘寺でしたが、平安時代後期の久安4年（1148年）に五重塔が落雷により焼失

しました。しかし、文治年間（1185年－1189年）には三重塔として再建されました。室町時代後期の永正3年（1506年）、室町幕府管領細川政元の家臣赤沢朝経による多武峰妙楽寺（現・談山神社）攻めの際に橘寺の僧が赤沢軍に与したため、多武峰の衆徒によって全山焼き討ちされ、以降衰退しました。それでも聖徳太子ゆかりの寺としての寺基は保ち続け、元治元年（1864年）には本堂として太子堂が再建されました。



飛鳥寺

飛鳥寺は蘇我氏の氏寺として6世紀末から7世紀初頭にかけて造営されたもので、本格的な伽藍を備えた日本最初の仏教寺院です。

飛鳥寺の伽藍については、発掘調査実施以前は四天王寺式伽藍であると考えられていましたが、1956年（昭和31年）から1957年（昭和32年）の

発掘調査の結果、当初の飛鳥寺は中心の五重塔を囲んで中金堂、東金堂、西金堂が建つ一塔三金堂式の伽藍であることが確認されました。本尊の銅造釈迦如来坐像は1940年（昭和15年）に重要文化財に指定されており、「飛鳥大仏」の通称で親しまれています。



各通関業会業務報告

東京

- 2月6日 大井通関協議会
8日 役員会
15日 本関通関協議会女性部会
// 大井通関協議会女性連絡会
22日 第76回定時総会・懇談会
24日 通関士部会委員会
3月3日 成田通協総会
// 大井通協総会
7日 税関150周年記念大学生フォーラム
8日 令和5年度 茨城港・鹿島港・千葉港・
木更津港・館山港(内航クルーズ部会)・
東京港・川崎港・横浜港・横須賀港
水際・防災対策連絡会議
10日 東京通関士部会総会
// 東航通協総会
14日 品目分類セミナー
15日 3月期二水会・役員会
// 本関通関協議会女性部会
16日 原産地規則セミナー
// 羽田通協総会
17日 関税評価セミナー
23日 本関通関協議会
24日 新潟通協総会
28日 大井通関協議会
30日 成田通関協議会

横浜

- 2月3日 ダイバーシティ推進部会
// 通関業会特別研修会
13日 分会長会議

- 14日 本関地区通関協議会
16日 宮城地区通関協議会
20日 宇都宮地区通関協議会
// 情報委員会
21日 川崎地区通関協議会
27日 総務委員会
28日 ダイバーシティ推進部会・ワーキング
チーム (WT) 横浜ミーティング
3月7日~10日 通関士実務研修会
13日 業務委員会
14日 本関地区通関協議会
15日 宇都宮地区通関協議会
// アンケート委員会
16日 宮城地区通関協議会
23日 川崎地区通関協議会
// 情報委員会
25日 女性通関士ネットワーク意見交換会
27日 三役会

神戸

- 2月2日 神戸女性通関士会教養セミナー及び地
区女性通関士との意見交換会
3日 ダイバーシティ推進部会(連合会主催)
6日~8日 通関士専門研修(連合会主催) 配信支援
9日 通関士部会 総務委員会(対面&WEB)
15日 第1回神戸通関業会役員会及び神戸税
関との意見交換会(対面)
17日 通関士部会 臨時総務委員会(WEB)
20日 通関時報2月号発行
22日 通関士部会 定例役員会(対面&WEB)
3月10日 通関士部会 総務委員会(対面)

- 15日 分野別研修 化学品 (WEB)
- 16日 第4回理事会 (連合会主催)
- 17日 通関業会定時総会 (書面決議)
- 20日 通関時報3月号発行
- 22日 通関士部会 定例役員会 (対面&WEB)
- 24日 通関士部会総会 (書面決議)
- 28日 永年勤務者表彰式

- 6日 四日市支部役員会
- 8日 営業部員専門研修
- 9日 通関士部会幹事会
- // 通関業務BCP勉強会
- 14日 本関通関事務研究会
- 15日 清水支部浜松通関懇話会
- 16日 清水支部通関事務研究会
- 17日 清水支部通関士部会定例会・総会
- 20日 清水支部定時総会・奇六会・懇談会
- 21日 清水支部沼津通関懇話会
- // 諏訪地区通関懇談会
- 22日 通関士部会総会・懇談会
- // 中部空港通関事務研究会
- // 清水支部御前崎通関事務担当者連絡会
- // 豊橋地区通関事務研究会
- 24日 西部通関事務研究会
- // 清水支部田子の浦通関事務担当者連絡会
- 28日 四日市支部通関士部会幹事会
- // 四日市支部通関事務研究会
- 3月2日 一木会・通関士部会幹事会
- // 四日市支部第71回定時総会・通関懇談会
- 7日 清水支部通関非違防止対策研修
- 14日 本関通関事務研究会
- // 清水支部通関士部会定例会
- 15日 清水支部浜松通関懇話会
- 16日 第4回理事会 (連合会)
- 22日 第76回定時総会・懇談会
- // 中部空港通関事務研究会
- // 清水支部沼津通関懇話会
- 23日 西部通関事務研究会
- // 清水支部通関事務研究会
- // 清水支部田子の浦通関事務担当者連絡会
- 24日 清水支部御前崎通関事務担当者連絡会
- 28日 清水支部興津通関事務担当者連絡会
- // 清水支部焼津通関事務担当者連絡会
- // 四日市支部通関事務研究会

大阪

- 2月8日 令和4年度通関士実務研修 (1日目)
- 14日 令和4年度通関士実務研修 (2日目)
- 15日 通関士部会 総務委員会
- // 通関士部会 業務委員会
- // 通関士部会 役員会・税関業務担当者との連絡会議
- 16日 ミニ研修「原産地規則ワンポイント研修」
- 21日 令和4年度通関士実務研修 (最終日)
- 22日 大阪地区通関協議会 (税関との通関事務連絡会、定例会、役員会)
- 3月3日 密輸撲滅キャンペーン (関空)
- 7日 令和4年度 (第4回) 新任通関業務従業者研修
- 9日 NACCS機能の便利な使い方講習
- 14日 ~営業担当者のための~「通関業務セミナー」
- 15日 通関士部会 総務委員会
- // 通関士部会 業務委員会
- // 通関士部会 役員会・税関業務担当者との連絡会議
- 22日 大阪地区通関協議会 (税関との通関事務連絡会、定例会、役員会)
- 23日 通関営業所責任者研修

名古屋

- 2月1日 一水会・理事会 (理事・監事)
- 3日 ダイバーシティ推進部会 (連合会)
- 6日 四日市支部二木会

- 28日 諏訪地区通関懇談会
- 30日 豊橋地区通関事務研究会

- 28日 会員周知「EUの輸入管理システム(ICS2)の稼働開始について」

門 司

- 2月1日 会員周知「23年度通関士試験突破研修の受講案内」
- 3日 「ダイバーシティ推進部会」(連合会会議室)
- 6日 会員周知「上限価格を超える価格で取引されるロシア連邦を原産地とする石油製品の輸入及び海上輸送等に関連するサービスの提供の禁止措置」
- // 「品目分類・原産地規則研修会」の開催案内発出
- 17日 「門司税関幹部と通関業会役員との連絡会」
- 3月2日 関税局業務課長と門司通関業会役員との意見交換
- 7日 門司通関士部会関門支部本関地区会議
- 10日 会員周知「税関手続きに関するアンケート調査の依頼について」
- 14日 品目分類/原産地規則 研修会
- // 会員周知「ビジネスと人権」に関する行動計画
- // 令和5年度関税等改正説明会の開催案内
- 15日 会員周知「G7広島サミット等の開催に伴う水際対策の強化について」
- 16日 品目分類/原産地規則 研修会
- 17日 会員周知「リアルタイム口座における紙申込受付終了について」
- 22日 会員周知「マイナンバーカードの取得等の促進について」
- 24日 会員周知「NACCS関連資料」の送付(NACCSを快適に利用いただくための機能紹介⑬)
- 27日 関税等改正説明会(関税協会門司支部と共催)

長 崎

- 2月1日 23年度通関士試験突破研修の受講案内
- 3日 連合会「ダイバーシティ推進部会」出席
- 7日 通関業務講習会(関税評価)鹿児島地区の開催
- 8日 通関業務講習会(関税評価)志布志地区の開催
- 15日 通関業務講習会(関税評価)長崎・佐世保地区の開催
- // 令和4年度安全保障貿易管理等説明会の案内送付
- 22日 長崎通関業会・通関士部会総会(KKRホテル熊本)
- 3月3日 第1回合同通関事務連絡協議会(WEB)開催案内の送付
- 13日 税関手続きに関するアンケート調査について(周知依頼)
- 15日 G7広島サミット等の開催に伴う水際対策の強化について
- 16日 令和4年度安全保障貿易管理等説明会の開催(WEB)
- 17日 知的財産侵害物品取締強化の取り組みについての周知
- 23日 第1回合同通関事務連絡協議会(WEB)開催
- 24日 NACCS通信(通関13)の配信

函 館

- 2月1日 会員周知:23年度通関士試験突破研修の受講案内
- 2日 会員周知:第7次NACCS詳細仕様案について
- 6日 会員周知:上限価格を超える価格で取引されるロシア連邦を原産地とする石

油製品の輸入及び海上輸送等に関連するサービスの提供の禁止措置について

21日 会員周知：令和4年度バーゼル法等説明会の開催について

24日 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・札幌・釧路・苫小牧・石狩・八戸・秋田）

3月10日 会員周知：税関手続き等に関するアンケート調査について

15日 会員周知：G7広島サミット等の開催に伴う水際対策の強化について

24日 会員周知：令和5年度通関士部会定時総会のご案内

28日 通関業務連絡会（函館・小樽・千歳・札幌・釧路・苫小牧・石狩・八戸・秋田）

28日 会員周知：G7広島サミット及び関係閣僚会合開催に伴う情報提供について

31日 会員周知：関税法基本通達の改正について

沖 縄

2月22日 第20回那覇港利用促進協議会（書面表決）

3月1日 沖縄テロ対策セミナー（WEB配信、関係5機関）

17日 三役打ち合わせ（事務処理の対応）

19日 通関従業者教材の購入配布を会員に調査

27日 通関連絡会の開催日程を税関と調整



貿易関連書類電子保管業務

NACCS-DMS®

NACCS-DMSで書類の電子保管始めませんか？

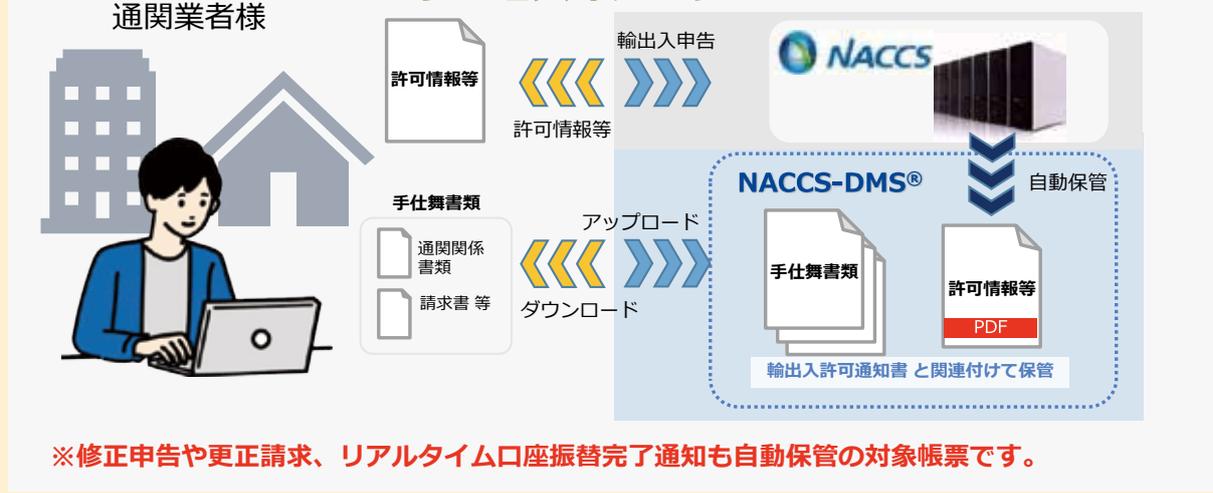
お客様の声

- ★紙保管から電子保管に移行し、業務プロセスが改善した。
- ★紙・トナーに掛かるコストが減り、事務所も片付いた!!
- ★営業部門も利用することにより、リアルタイムで情報が社内共有出来るようになった!!
- ★段ボールから書類を探す手間が無くなった!!
- ★書類廃棄費用や廃棄作業が大幅に減少した!!



通関業者様

サービスイメージ



お問い合わせ先


 一般社団法人 日本通関業連合会 一般社団法人 日本通関業連合会 業務部
 Japan Customs Brokers Association 電話 03-3508-2535 / メール n-dms@tsukangyo.or.jp


 輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社 営業企画部 営業推進課
 電話 03-6732-6130 / メール solution-pro@naccs.jp



詳しくはNACCS掲示板をご覧ください

サービスのご紹介やデモンストレーションの実施は随時受付けております。お気軽にお問い合わせください。



発行所：一般社団法人 日本通関業連合会

東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8階
TEL: 03-3508-2535 FAX: 03-3508-7796
E-mail: jcba@tsukangyo.or.jp
URL: <https://www.tsukangyo.or.jp/>



編集兼発行人：中 洲 亨

※本会報からの転載については、あらかじめご連絡下さい。